

# 光と風の輪

第44号

2016.8.1 発行

光:生きがい、歓喜      風:力      輪:仲間、連帯



## 第13回 長崎県ねんりんピック・生きがい作品展

【長崎県老人クラブ連合会長賞】

「小さな庭に あふれる緑」

吉浦 敬子(佐世保市)

## も く じ

- ◆平成28年度事業計画 ..... 1
- ◆平成28年度収支予算 ..... 2
- ◆平成28年度役員・評議員 ..... 2
- ◆地域文化伝承館「出展」へ向けて ..... 3~5  
(大村市、佐世保市、南島原市)
- ◆地域文化伝承館「出演」へ向けて ..... 6~8  
(長崎市、佐世保市、長与町、諫早市)
- ◆市町老連会長研修会 ..... 9
- ◆若手委員会・女性部会開催 ..... 10
- ◆平成28年度長崎県高齢者施策について ..... 11
- ◆「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」  
に参加して ..... 12
- ◆「健康づくり中央セミナー」に参加して ..... 13
- ◆「全国老人クラブリーダー  
中央セミナー」に参加して ..... 14
- ◆市町老連紹介  
諫早市老連 ..... 15
- ◆市町老連別クラブ数・会員数 ..... 16
- ◆老人クラブ傷害・賠償保険 ..... 17
- ◆指定宿泊施設一覧 ..... 18
- ◆編集雑感 ..... 19

平成28年度

公益財団法人

長崎県老人クラブ

連合会事業計画

☆のばそう！健康寿命、  
担おう！地域づくりを

『事業の重点課題』

- 1 会員増強運動の推進
- 2 若手会員の組織化と女性会員の登用
- 3 介護予防（健康づくり）と生活支援
- 4 ねりんピック長崎2016における地域文化伝承館の開催

平成28年3月11日に行われた評議員会及び、3月3日に行われた理事会において、平成28年度の長崎県老人クラブ連合会の事業計画が協議決定されました。

8月からの主な行事は、次のとおりです。

平成28年度 県老連の主な行事

開催日	行事	場所	
8月	3(水)	健康づくりリーダー養成講習会	五島市
	18(木)～19(金)	九州各県・指定都市老連事務局長会議	長崎市(ホテルセントヒル長崎)
	25(木)～26(金)	市町老連女性リーダー研修会	長崎市(Alega軍艦島)
9月	8/31(水)～9/1(木)	市町老連若手リーダー研修会	島原市(南風楼)
	15(木)～21(水)	老人週間(15日老人の日、20日社会奉仕の日)	
	下旬(未定)	地域文化伝承館スタッフ等説明会	長崎市(県総合福祉センター)
10月	5(水)～6(木)	全老連女性リーダーセミナー	東京都(全社協会議室)
	15(土)～18(火)	第29回全国健康福祉祭ながさき大会 〔地域文化伝承館15(土)～17(月)(県立総合体育館)〕	長崎県
11月	1(火)	県老連理事会・第3回表彰選考委員会	長崎市(県総合福祉センター)
	9(水)～10(木)	第45回全国老人クラブ大会	富山県
	15(火)	健康づくりリーダー養成講習会	東彼杵町
	16(水)	健康づくりリーダー養成講習会	島原市
12月	8(木)	第51回長崎県老人クラブ大会	諫早市(文化会館)
	14(水)	健康づくりリーダー養成講習会	長崎市
平成29年 2月	15(水)～16(木)	在宅福祉を支える友愛活動セミナー	東京都(全社協会議室)
	22(水)～24(金)	第14期健康づくり中央セミナー	神奈川県(口フォス湘南)
	未定	第12回「銀の翼」	渡航先未定
3月	9(木)	県老連理事会	長崎市(県総合福祉センター)
	17(金)	県老連評議員会	長崎市(ホテルセントヒル長崎)
	17(金)	地域文化伝承館第4回実行委員会(15:00～)	長崎市(ホテルセントヒル長崎)

# 平成28年度 収支予算(損益方式)

単位:千円

科 目	予算額	摘 要	科 目	予算額	摘 要
I.一般正味財産増減の部			2. 経常外増減の部		
1. 経常増減の部			(1) 経常外収益	0	
(1) 経常収益	40,202		(2) 経常外費用	0	
基本財産運用益	134		当期経常外増減額	0	
受取会費	7,276	会 費 7,200 賛助会費 76	当期一般正味財産増減額	△4,121	
事業収益	3,140	会 員 章 普 及 30 指定宿泊施設 2,400 傷害保険普及 710	一般正味財産期首残高	11,000	
受取補助金等	29,482	県 補 助 金 28,872 民間助成金 610	一般正味財産期末残高	6,879	
雑収益	170		II.指定正味財産増減の部		
(2) 経常費用	44,323		当期指定正味財産増減額	0	
事業費	36,965		指定正味財産期首残高	106,000	
管理費	7,358		指定正味財産期末残高	106,000	
当期経常増減額	△4,121		Ⅲ.正味財産期末残高	112,879	

## 平成28年度 役員・評議員

辞任等に伴う補欠選任により次の体制となりました。

### 《役員》

#### 会 長

島中 英安 (大村市老連)

#### 副会長

金富 竹志 (長崎市老連)

寺田 道子 (県老連女性部会)

#### 常務理事

本田 哲朗 (県老連事務局)

#### 理 事

相良 綱信 (南島原市老連)

小村 省二 (佐世保市老連)

峯脇 達郎 (五島市老連)

中野 勝利 (県老連若手委員会)

小村 利之 (県長寿社会課) 新

藤原 敬一 (県社会福祉協議会)

#### 監 事

畑中 正広 (諫早市老連) 新

福井 一正 (長与町老連)

### 《評議員》

佐々木光健 (長崎市老連)

金子 健夫 (佐世保市老連)

荒木 千鶴 (島原市老連)

小谷 富敏 (諫早市老連)

山口 鷹士 (大村市老連)

田淵 俊雄 (平戸市老連)

永淵 勝幸 (松浦市老連)

齋藤 義人 (対馬市老連)

山本 義人 (杵岐市老連)

清島 康平 (五島市老連)

中村 光春 (西海市老連)

脊川 龜史 (雲仙市老連)

田中 照身 (南島原市老連)

内田 政信 (長与町老連)

黒田 博 (時津町老連)

佐藤 昇一 (東彼杵町老連) 新

荻野 行宣 (川棚町老連)

小林 正男 (波佐見町老連)

近藤 一輝 (小値賀町老連)

永石 善吾 (佐々町老連) 新

道下 三昌 (新上五島町老連) 新

近藤 正治 (県老連若手委員会)

道下 敦 (県老連女性部会)

佐藤 雅秋 (県すこやか長寿財団)

# 地域文化伝承館「出展」へ向けて

大村市

## 老人クラブ連合会

女性部会長

野口 喜美子

大村市老連の女性部会は、15名の部会員で構成し活動しています。年齢にもあまり差がなく、何事も気軽に話し合える、相談しやすい女性部会です。

本年10月に開催される「ねんりんピック長崎」での健康と福祉の祭典の中の「地域文化伝承館」への出展が決まり、まず広報活動の一環として、日頃からの取り組みを活かして、折り紙を使っての作品を大村市役所玄関ロビーに出展コーナーを設け、6日間展示を行いました。

また、市老連リーダー研修会においても会場に作品展示コーナーを設置し、さらに単位クラブに出向き、折り紙作りの出前講座を実施するなど、会員への意識高揚を図り、一定の成果を得ることができました。

来場者記念品「つばき折り紙」作成目標（200個）を目指すため、出前講座での経験を活かした作成講習会を開催し、71名が参加し、267個を完成することができました。

全国から地域文化伝承館へ来場される皆様に、おもてなしの心をもって贈ることを楽しみたいと思います。

市老連女性部会員も思い出に残る取り組みに専念してまいります。

「ねんりんピック長崎2016」に出展参加できることを感謝すると共に、子供・孫・友人に自慢できるように、女性部会員一丸となり取り組んでまいります。



# 地域文化伝承館「出展」へ向けて

佐世保市

## 老人クラブ連合会

女性理事部会

私たちは、ねんりんピックが長崎県で開催されるご縁を頂き、地域文化伝承館を担当することとなりました。

これを受けて、県老連女性部では、地域文化伝承館へおいでいただいた選手や役員の皆様および来場者様に手作りの記念品を持ち帰っていただくことを計画いたしました。

そこで、県北地区（佐世保市・平戸市・松浦市・佐々町）では、身に着けると「福を招く」と言われる江迎町の「繭玉」をストラップにして、歓迎メッセージをつけてお配りすることとしました。

更に、佐世保市老連では9月に開催されます「佐世保市シルバー作品展」に出品される様々な繭玉を地域文化伝承館に展示して、合わせて体験コーナーを

設置して、自分の作った作品を持って帰っていただけるように準備いたしました。

「繭玉ストラップ」は、きっと皆様に喜んでいただけると信じて全員が張り切って創り上げた作品です。よかつたらご自分でも創ってみませんか？

また、佐世保の3会場へお出でいただいた選手や応援の皆様にもお渡しいただくように更に2000個を作成して佐世保市長へお預けいたしました。この旅で良い出会いがありますように！



残したい、伝えたい。長崎の技、こころ。

# 地域文化伝承館「出展」へ向けて

南島原市

## 有馬愛瓢会

会長 高橋 文男

有馬愛瓢会は発足以来18年、高齢者を主体に会員数36名で活動を続けています。会員の皆さんは、ひょうたんを毎年2〜3月に種まきから始め、植えつけ・水やり・消毒、実が熟すまで毎日畑に行き半年かけて育てます。実が熟したら水漬けし、

中身を出し水洗い、乾燥させて素瓢が出来上がります。加工は、カシュー（塗料）を何十回と塗り重ねてからの研ぎ出し法（津軽塗り）や、彫刻刀等で色々な模様を刻んでいく透かし彫り等、各自思い思いに工夫を凝らして作品を仕上げます。

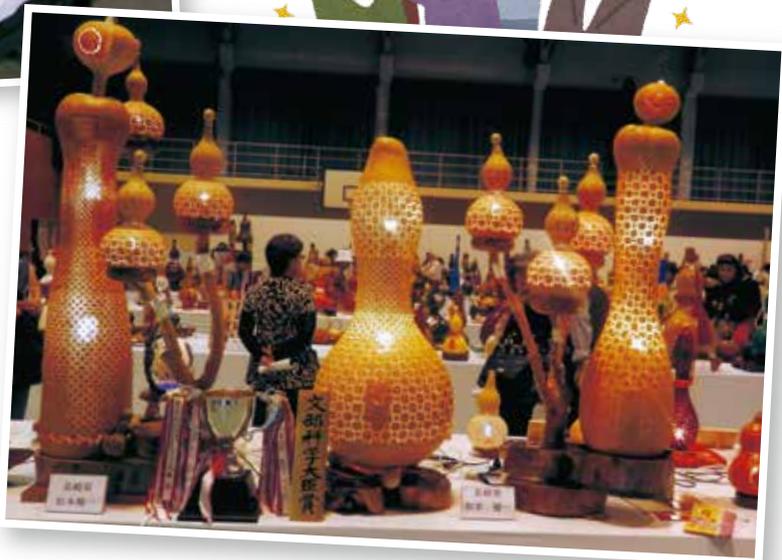
そして、翌年3月上旬に開催する「有馬ひょうたん展」に展示し、お互いの作品を競い合う発表会を行っております。2日間の日程ですが、県内外から1000人前後の観覧者が訪

れ、口々に素晴らしいと言われ好評を得ています。

また、島原市の災害記念館でも4年前から、3月に約1ヶ月間「ひょうたん展」を開催しております。期間中は全国から4000人前後の入場者があり、これもまた大好評です。

今回、「ねんりんピック長崎2016」の「地域文化伝承館」に、作品の一部を出展させて頂くことになり会員一同大変喜んでいきます。

なお、今年の6月2日〜3日に大分県で開催された第41回全日本愛瓢会展示会に2名の会員が出展し、松本健一氏が文部科学大臣賞に、木下克己氏が大分県知事賞に輝きました。その作品も展示させて頂きますので、心ゆくまで観賞して頂ければ幸いです。



# 地域文化伝承館「出演」へ向けて

## 長崎市

### 老人クラブ連合会

#### コーラス部

平成8年4月から講師野中久美子氏の指導の下、「明るく楽しく 若々しい声で」をモットーにコーラスに取り組んでいます。

同年10月に全国ねんりんピック宮崎大会に長崎県代表として出演、翌年の平成9年全国老人クラブ連合会鹿児島大会にも長崎県代表として出演しました。

直近では、平成23年7月九州ブロック長崎大会にも出演しました。

結成以来、大きな大会で歌えたことは光栄であり励みでもあります。

コーラス部として地道な練習を重ね、毎年、長崎市老連演芸大会に出演し、現在に至っています。

この度、全国ねんりんピック長崎大会に出演が決まり部員一



同感激し、月1回の練習を、期待に添いたいとの思いで月2回練習しています。

3曲歌わせて頂きますが、歌詞を覚えるのも一苦勞、又、他のパートの音階につられることもしばしばあります。

不安だらけですが、本番では美しいハーモニーを披露できるよう頑張りたいと思います。

## 佐世保市

### 老人クラブ連合会

#### 大和長寿クラブ

会長 牛嶋 晃

私達、大和長寿クラブのコーラス部は、健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりを一層進めるため、平成25年に結成しました。

練習は、我が町の公民館で、毎週水曜日の午後2時間程度行っています。

部員は、60〜90歳代で大変賑やかなメンバーです。

活動のはじまりは、当長寿クラブの例会、新年会等でしたが、次第に、我が町の夏祭りや、地域及び佐世保市の老人クラブ連合会主催の老人演芸大会にも出演するようになっていきました。

人間の生活において、歌ほど心の奥底に溶け込んで、健康の喜びと励ましを与えてくれるものはありません。



私達は、長崎の地域文化の催しに共鳴し、「愛させば」「希望」「あざみの歌」3曲を心を込めて斉唱したいと思います。

# 地域文化伝承館「出演」へ向けて

## 佐世保市

### 老人クラブ連合会

桜ヶ丘桜寿会

会長 池田 寿美子

佐世保市南部に位置する黒髪地区で活動する「桜ヶ丘桜寿会」は、昭和55年に発足し、歴代会長のあとを継ぎ、現在は春夏秋冬に行事を計画し、講演会・食事会・何でも話し合う会・カラオケ・グラウンドゴルフなどを取り入れて活動しています。

地域文化伝承館への出場依頼をいただいて、クラブの会員さんに声をかけ、最初は驚きと不安で一杯でしたが、人生の中でこんな有難い事はないだろうし、いい人生経験をさせていただくことに感謝、感謝です。

その経験も、みんなの心が一つにまとまりエネルギーが燃えて、後期高齢者の生き甲斐と健康に繋がります。

週一度のダンス練習と月一回

の桜寿会例会は、皆さんの楽しみです。

今月の議題はどんな内容だろうかと心わくわくして参加されますし、和気あいあいとおしゃべりし、笑い、悩みの相談等、ストレス発散の中で生み出す身体と心の健康法で、平均年齢約75歳ですが、まだまだ会員一同頑張つていくつもりです。

本番では、4曲発表させていただきますが、練習不足と高齢者のダンスはどうなりますか、どうぞ応援宜しくお願いします。



## 佐世保市

### 老人クラブ連合会

竹老会

会長 田中 定利

佐世保市北部に位置する相浦地区で活動する「竹老会」は、有志が集まり、郷土芸能を継承しております。

大正末期に設立された竹辺町郷土芸能「女角力おどり」は、町の行事、その他のイベント等に出演し、盛んに活動しております。

踊りで使用する化粧回しは、大相撲で使用されているものと同様であり、四股名・角力甚句等も独特で、地名や屋号に因んでつけてあります。

近年では高齢化が進み、後継者不足となり休会を余儀なくされ、永い間復活の目途が立たずにいましたところ、平成19年3月に大宮姫神社(町内管理)が県の有形文化財の指定を頂き、その祝賀会において披露すると

いうすばらしい機会を得て、竹辺町郷土芸能を復活する運びとなりました。

そして、先輩方の指導を受け練習を重ね、町のイベント等で披露しておりますが、なにせ平均年齢74歳の老人たちのこと、なかなかスムーズには行きません。

この度のねんりんピック長崎2016「地域文化伝承館」出演に向けて、一生懸命練習を行つてまいりました。

無事披露できますように!!



# 地域文化伝承館「出演」へ向けて

## 長与町

### 老人クラブ連合会

まなび野シニアクラブ

安藤 江津子

私達、まなび野シニアクラブは、毎週木曜日、メンバーでもある青田ミチ子さんの指導の下、66歳から86歳まで仲良く元気に練習に励んでいます。

健康の為に始めた踊りで、ド素人の私達が、「ねんりんピック」に参加できるなんてメンバー一同驚きと嬉しさで胸がいっぱいです。一生に一度あるかないか！ほとんどない！この晴れの舞台。ますます練習にも力が入ります。

覚えも悪く、直ぐ忘れ、仕上がりにはまだまだですが、「冥途の土産にバッチリね！」と会話も弾みます。

日毎に緊張も増し、時折不安も顔を覗かせますが、全員が明るく元気で本番の日を迎える事ができますように、体調にも気を

を付け、チームワークの良さを伝えられる様に頑張ります。



## 諫早市

### 老人クラブ連合会

小野島町

「福徳会」女性部

私達は、報道でもご存じの諫早湾干拓のお膝元小野島町に住んでいます。諫早平野は、遠い

昔から延々と干拓を繰り返して現在に至っています。その恩恵を頂いた干拓の労働の様子を大正後期に地元の「沢村セツ」女子が元歌をリズムミカルに編曲し、干拓地独特な板鍬を持つ人、かがり（藁で作った担いかご）を持つ人の1組で踊る、「新地節」が完成しました。諫早湾も既に干陸化し、今日大きく発展し変貌しましたが、幾数年を経た今日も「新地節」は代表的な伝承芸能として踊り継がれています。干拓の歴史とともに愛郷の思いが込められたこの踊りを、私達は地元の公民館で足腰を労わりながら、楽しく、元気に頑張ってお稽古をしました。



平成28年度

## 市町老連会長研修会

●平成28年6月22日～23日

●あぐりの丘 高原ホテル

(長崎市)

研修会当日は悪天候でしたが、市町老連会長及び関係者51名が参加し、県老連評議員会及び地域文化伝承館実行委員会の終了後、開催されました。

### 《1日目》

県老連島中会長の開催挨拶の後、県老連事務局長より「長崎県老人クラブ会員数及びクラブの推移」及び平成28年度の主な行事、老人クラブ傷害賠償保険等の説明がありました。

### 【分散会】（グループ協議）

テーマ

「会員増強について」等

まず、県老連事務局長より分散会及び全体会の進め方の説明があり、その後、10グループに分かれ、協議・意見交換を行いました。

### 《協議・意見交換の主な内容》

◆1年目、2年目の取り組みはどうだったか。目標達成のために行動したことは？

◆成功事例

◆反省点

◆今後の取り組みの活動目標

### 《2日目》

#### 【行政説明】

長崎県長寿社会課 山口参事及び出口係長より、高齢者施策及び老人クラブ関係補助金並びに長崎県老人クラブ研修費補助金等について具体的な説明がありました。



#### 【参加報告】

大村市老連 前田満行副会長よ

り第33回老人クラブ中央セミナー参加の報告がありました。

#### 【全体会】（分散会報告・討議）

- ・自治会役員会、民生委員会等に出向いて協力を要請した。
- ・老人クラブの活動を積極的に紹介して魅力を伝える。
- ・老人クラブのない地域を訪問して勧誘活動をしている。
- ・勧誘活動は女性会員が上手。
- ・報奨金制度を行っている。
- ・解散の情報を早く得て説得に努める。
- ・地域の活動に積極的に参加。
- ・社協・市・校区のPTA・商工会・青少年育成会・学校など関係機関との交流で老人クラブの存在と理解を求めた。
- ・総会で表彰する。
- ・グラウンドゴルフ・ウォーキング・サロン等に参加する人を勧誘する。
- ・会長・副会長・班長と役割を分担している。
- ・単位クラブに自治会長や民生委員がいるところは会が活性化している。

・会員増強も必要だが、休会クラブの再開も必要だ。

- ・地域にマッチした魅力あるクラブをつくることが大切である。
- ・地域と密着した活動、皆から頼られる、愛されるクラブづくり。
- ・クラブ会員も高齢化している。
- ・次期リーダーは早めに育てる。
- ・PR活動をする。
- ・後継者を育て引継ぎがきちんとできるよう努める。
- ・単位クラブの団結が必要。
- ・サロンをうまく活用する。

※今後の取り組みに参考になる様々な意見が発表されました。



## 若手委員会開催

● 平成28年5月20日（金）  
● 県総合福祉センター

### 平成28年度若手委員会

委員長

中野 勝利（諫早市老連）

副委員長

近藤 正治（南島原市老連）  
八田 賢一（長与町老連） 新

委員

加納 省司（長崎市老連）  
福永 昭夫（佐世保市老連） 新  
岩本 三男（島原市老連）  
前田 満行（大村市老連）  
北村 誠一（平戸市老連）  
青木 掉磨（対馬市老連）  
白川洋一朗（杵岐市老連） 新  
上河 恵賜（五島市老連）  
嵯峨 章（西海市老連）  
富永 孝司（雲仙市老連）  
坂本 忠良（時津町老連）  
川原 悟（東彼杵町老連）  
一瀬 義美（川棚町老連）  
笹川 行雄（波佐見町老連）  
竹元 隆（小値賀町老連） 新  
原 嘉登（佐々町老連）  
荒木 宏匡（新上五島町老連）

報告等を踏まえ、若手委員会の必要性、若手勧誘の重要性の再認識を含め、若手組織の設置に向けた今後の活動等について、意見交換を行いました。

また、事務局から10月に県内で開催される「第29回全国健康福祉祭ながさき大会（ねんりんピック）」の地域文化伝承館についての説明と現状報告がありました。

## 女性部会開催

● 平成28年5月27日（金）  
● 県総合福祉センター

### 平成28年度女性部会

部会長

寺田 道子（南島原市老連）

副部会長

道下 敦（新上五島町老連）  
川口アキヨ（長崎市老連）

部会員

田坂 弘子（佐世保市老連）  
船戸 澄子（島原市老連） 新  
高以来真須美（諫早市老連）  
野口喜美子（大村市老連）  
末永フサエ（平戸市老連）  
瀬川 洋子（松浦市老連）  
江嶋 慶子（対馬市老連）  
井戸川哲子（杵岐市老連）  
久保智恵子（五島市老連）  
岩本ゆかり（西海市老連）  
三原 龍子（雲仙市老連）  
井手 則子（長与町老連） 新  
中山 明美（時津町老連）  
田崎 光代（東彼杵町老連）  
森 紘子（川棚町老連）  
村川ケイ子（波佐見町老連） 新  
松尾 紀子（小値賀町老連） 新  
馬場マチ子（佐々町老連）

平成28年度県老連事業計画の説明、「都道府県・指定都市老連女性代表者会議」の参加報告後、平成28年度市町老連女性リーダー研修会（8月25日～26日）での企画及び運営についての協議を行いました。

また、事務局から「100万人会員増強運動」に関連する県及び各市町の会員数等の推移と女性部会の重要性、10月に開催される「第29回全国健康福祉祭ながさき大会（ねんりんピック）」の地域文化伝承館についての説明及び、来場者に配布する記念品の現状と8月の研修会での記念品の最終作業についての説明がありました。



# 平成28年度の長崎県 高齢者施策について

長崎県福祉保健部 長寿社会課

会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、それぞれのクラブにおいて、生きがいを高め、健康づくりを進める活動の推進や、ボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする各種活動にご尽力いただいておりますことに対し、感謝申し上げます。

さて、本県では全国より早いペースで高齢化が進行しており、九年後の平成三十七年には、県民の三人に一人が高齢者になると予測されています。そのような中、県においては、高齢者の方々が「自らの知識・技能を活かして、生き生きと活躍できる社会」、また、「住み慣れた地域で安心して暮らせる社会」を目指して、様々な施策を進めてまいります。

これらの施策の中から、特に老人クラブ活動に関わりの深い、生きがい対策と在宅福祉対策について、平成二十八年度の主な事業と予算額をご紹介します。

## 1. 生きがい対策

県老人クラブ連合会、県すこやか長寿財団及び市町との密接な連携のもと、地域社会への積極的な参加や、スポーツ・文化活動などを通じた生きがいと健康づくりに向けた諸施策を推進してまいります。主な計上事業は、次のとおりです。

- ① 老人クラブが行う各種の活動、市町老人クラブ連合会や県老人クラブ連合会が行う活動促進への取組や県老人クラブ大会開催等への助成  
6,918万円
- ② 老人クラブが研修のための旅行に要した経費への助成  
400万円
- ③ 高齢者の社会活動の普及・啓発、県ねんりんピックなどスポーツ大会の開催、すこやか長寿大学の運営への助成  
6,974万円

## 2. 在宅福祉対策

高齢者の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために必要な地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護予防を一層推進

するとともに、生活支援サービスの充実を図るため、市町が実施する地域支援事業を支援してまいります。また、認知症疾患医療センターの整備や医療従事者向けの研修の実施など、増加する認知症高齢者対策の充実を図るほか、在宅医療・介護の連携を推進していくこととしています。主な計上事業は、次のとおりです。

- ① 地域支援事業交付金等  
5億9,304万円
- ② 介護実習・普及センター運営事業  
1,901万円
- ③ 認知症施策等総合支援事業  
2,486万円
- ④ 認知症ケア人材育成研修事業  
888万円
- ⑤ 地域包括ケアシステム人材育成・資質向上事業  
1,700万円
- ⑥ 日常生活自立支援事業  
7,357万円
- ⑦ 多重的見守りネットワーク総合対策事業  
315万円

さて、いよいよ来る十月には、第二十九回全国健康福祉祭「ねんりんピック長崎2016」が開催されます。大会期間中は、観客の皆様を含め延べ約五十万人という、大変多くの方々の参加が見込まれております。ご来県された方々をおもてなしの心でお迎えし、参加された方々の心に残るようなすばらしい大会にしたいと考えておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

県におきましては、今後とも市町及び関係機関・団体と連携を図りながら、高齢者施策を総合的に展開してまいりますので、引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますよう併せてお願い申し上げます。



この機関誌は共同募金の配分金により発行しました。

## 第21回「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」に参加して



長崎市老連女性部長  
川口 アキヨ  
(筆者)

松浦市老連女性部長  
瀬川 洋子

平成28年1月13日、14日東京都新霞が関ビル・全国社会福祉協議会に於いて、全国老人クラブ連合主催の「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」が開催され、長崎県から松浦市老連の瀬川さんと2名出席しました。

冒頭、厚生労働省老健局振興課課長補佐 稲葉好晴氏により地域包括ケアシステムの構築に向けた介護予防、生活支援の充実について説明がなされました。

40歳以上の生産年齢人口の減少と高齢者数の増大は、生活支援ニーズの拡大と介護支援人材の不足が予想されています。

今後、要介護者の生活支援の担い手として元気高齢者を含む住民主体の社会参加活動が求められる、このような社会構造の中で国は、介護保険制度の改正を行ったと説明がなされました。

■老人クラブの友愛活動が今後の新地域支援事業に参画することを期待されていると感じました。

次の活動報告では、京都市伏見区二ノ丸老人クラブ会長北川眞次氏より老人クラブ活動が紹介されました。

◆昭和52年に入居が開始されたニュータウンには8棟の集合住宅に1,100世帯が生活している。

現在、クラブ会員数は95名、平成21年に元植栽職人、元電気屋並びに女性達が発起人となり「すこやかボランティア」を立ち上げ、電球の取替、洗濯掃除や布団干し等の家事手伝い支え合い活動を始める。

平成25年、団地の中での一人

暮らしの話し、認知症の高齢者を持った家族の話し、高齢者の孤独死の話しなどの話題が数多く語られたことがきっかけで友愛活動を開始する。

市指定のゴミ袋をお土産に訪問し、話し相手としての安否確認、閉じこもり防止の活動を行い、また電球取替等の高所作業依頼は「すこやかボランティア」と連携し友愛活動を行っている。

会員が居住する団地内には喫茶店もなく、住民同士で顔を合わせる機会が少ない。

このため住民が知り合って交流することを目的とした「ふれあい喫茶」を立ち上げ、そこで暮らしの支え合い活動を行っている。

続いて、北海道網走市老人クラブ連合会会長 磯江良三氏より老人クラブ連合会としての活動が紹介されました。

◆平成26、27年北海道老連の「高齢者相互支援モデル」指定を

契機に「友愛会員」を制定し在宅福祉を支える友愛活動事業に取り組んでいる。

「友愛会員」とは、会員同士の助け合いの中心として活動する人で、市老連設定の「普通救命講習」、「認知症サポーター養成講座」並びに「ボランティア講座」を受講した後、市老連会長より「認定書」を授与された会員のことです。

主な活動は、訪問による安否確認、閉じこもりの防止、悩みの相談等、出来ることは積極的に取組む。

「助けられる高齢者から助け合う高齢者へ」に変わることを目指している。

■新しい形で、老人クラブの友愛活動を取り組んでおられると感じた次第です。



# 第13期「健康づくり中央セミナー」に参加して



長与町老連  
三井 朝松  
(筆者)



平戸市老連  
北村 誠一

平成28年2月24日(水)〜26日(金) 神奈川県葉山町の中央学院「ロフォス湘南」で全国より58名の参加で開催され、長崎県から平戸市老連の北村誠一さんと2名参加しました。

## 「地域に健康づくり・介護予防の輪を広げよう！」

### 《1日目》

#### 基礎講座

#### 「介護予防と老人クラブ」

国際医療福祉大学大学院

竹内 孝仁 教授

「老人クラブに期待する3つの役割について」

第一の役割 自分が寝たきり・認知症にならない。

第二の役割 老人クラブの仲間

を寝たきり・認知症にしない。

第三の役割 地域の高齢者(非会員)を寝たきり・認知症にしない。

認知症にならないよう仲間同志、地域の皆さんがお互いに気遣い、気配りあうことが大事で、特に体調管理と水を1日に1500ml以上飲む。食事で1日に1500kcalの栄養を取る。便秘の解消。運動は1日30分の散歩・運動をすることで認知症予防と認知症の回復等の効果があげられる。

#### 専門講座

#### ①「医療」

#### 上手な医療の受け方について

日本医師会

今村 聡 副会長

日本の医療の特徴は、誰もが必要な時に必要な医療を受け、誰もが自由に医療機関を選ぶことが出来ることから、身近な地域にある、何でも相談出来るかかりつけの医師を持つこと。さらに健康診断は必ず受診し、病気の早期発見と予防が大事です。

#### 《2日目》

#### 専門講座

#### ②「運動」

#### 高齢期の運動による

#### 健康づくり・介護予防

順天堂大学

武井 正子 名誉教授

運動とは、筋肉と骨との共同作業。抗重力筋・脳・神経は、運動をコントロールする。

日常的に体を動かすことで抗重力筋を維持することが大事。体を衰えさせないよう動かすことで脳の活性化をうながす。講話後、実技で実際に体を動かす。1つ1つの動作の中で筋肉の動きを確認しながら、立つての動き、座った状態やタオルを使っての体操等で楽しく体を動かして汗を流した。

#### ③「事故防止」

#### 高齢者に多い事故とその予防

#### 東京消防庁 生活安全担当

田中 富也 係長

高齢者の事故の特徴として、転ぶ事故が多く、室内で多く発生している。また、食事時の窒息・誤飲等も多く、食事はゆっくり噛んで飲み込む、肉や餅などは小さく切って食べるよう周囲の気遣いも必要。

#### ④「薬」

#### 高齢者のための知識

日本薬剤師会

藤原 英憲 常務理事

薬の使い方には決まりがあり、飲み方を間違えると薬の効果が表れない。医療用医薬品の分類と保管に

注意し、複数の病院を受診している場合は、お薬手帳を持参し提示する。

#### ⑤「歯・口腔」

#### 歯・口腔の健康管理について

日本歯科医師会 細野 純

歯周病は万病のもと。毎日、歯、口腔のセルフケアをしつかり行うことで健康寿命をのばす。

#### 《3日目》

#### 専門講座

#### ⑥「栄養」

#### 高齢期の食生活のあり方

日本栄養士会

迫 和子 専務理事

1日3食バランスよく食べる(主食・主菜・副菜)

今後ますます高齢化が進む中で健康で長生きする為には、まず自分の健康は自分で守ることが1番大切になると思います。

今回のセミナーに於いて改めて健康でいられることを実感するとともに、会員・地域の高齢者の健康づくりと介護予防にどれだけ取り組んでいけるか、何が出来るかを考え、関係者、関係機関と相談しながら努力して行きたいと思えます。有難うございました。

## 「第34回老人クラブ リーダー中央セミナー」 に参加して



五島市老連  
清島 康平  
(筆者)



波佐見町老連会長  
小林 正男

今年の中央セミナーは、平成28年6月2日(木)～3日(金)、東京「新霞が関ビル」で85人が参加、長崎県から波佐見町老連の小林会長と2名参加しました。

厚生労働省の説明では、老健局振興課愛甲健課長補佐より介護保険制度をめぐる施策の動向についての話がありました。

①今後、65歳以上の高齢者が2044年にはピークを迎える。

②認知症の高齢者が増加していく。

③世帯主が65歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯が増えていく。

④75歳以上の人口は、都市部でも急激に増加し、もともと高齢者人口の多い地方でも緩やかに増加する。

このような状況から、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることが出来る社会を目指そうと結びました。

基調報告では、全老連の齋藤常務理事が冒頭、熊本地震災害について救援拠金への協力を訴えました。

老人クラブ100万人会員増強運動については、全国で19万人増の目標が、17万人の減少。会員が増加したポイントは、

①声かけ、戸別訪問  
②活動による勧誘、新行事の実施

③クラブ新設、解散防止

④広報・PR活動

⑤自治会の協力、連携

で、特別なことではなく地道な活動が増加につながっている。今後の取り組みとして、

①単位クラブは、まずはあと一人の加入増を！

②解散クラブの防止を！

③未結成地域に新規クラブの立ち上げ！

を実行しようと話されました。

次に、新地域支援事業にむける行動提案があり、老人クラブはこれまで実施してきた友愛活動・健康づくり・介護予防活動の経験を生かして、市町村が行う新地域支援事業(新しい介護予防・日常生活支援総合事業)に地域住民と共に参画しようという提案がありました。

事例発表では、

①「友愛活動で新地域支援事業への参画をめざす」と題して、さいたま市老連の取り組みの発表

②「自治会の協力を得て新設クラブの立ち上げ」と題して、岐阜県大垣市老連の発表

がありました。

講演は、東京荒川区の社協のネットワーク課の鈴木訪子さんが「地域のネットワークで取り組む見守り・支え合い」と題して、ふれあい絆・いきいきサロン活動の大切さを話されました。

今回のセミナーでは、新地域支援事業の取り組みが老人クラブの行動テーマとなり、われわれ地域の取り組みの弱さを実感しました。セミナーで学んだことを今後の活動に生かして行きたいと思えます。有難うございました。



# 市町老連紹介

諫早市老人クラブ連合会

会長 小谷 富敏

若手委員長 中野 勝利

## 諫早市老人クラブ連合会の特色ある活動

### 諸団体との連携

諫早市老人クラブ連合（会員約8,000人）も現在に至るまで全国三大運動を中心に様々な活動を推進しているが、地域の諸団体等との連携を強化し、歴史伝承・世代交流活動や地域貢献活動に取り組んでいます。目的は若手高齢者へのクラブ活動PR、地域に根差した歴史文化的活動や地域資源の開発です。

### 1 中学校との連携

#### 中学生への戦争・被爆体験継承活動

長崎は被爆県です。老人クラブが被爆・戦争など様々な体験を伝え、戦争や核の悲惨さ、平

和の尊さを次世代に語り継ぐことは極めて大切です。

昨年は初めて「被爆・戦争体験を語り継ぐ」平和集会を開催したが、今後は若い次世代への継承を重視し、地区老人クラブが中心となり、試みとして中学校と連携し平和学習に参画することになっています。今年、諫早市立西諫早中学校をモデルケースとして取り組みます。

中学校の「平和学習会」に参加し、老人クラブは、戦争体験手記「子供たちだけの引き揚げ」の朗読や歌『折り鶴』『青い空は』を中学生と一緒に合唱する予定です。

今後は他の中学校平和学習への参加を広げます。

平成28年3月に諫早市老人クラブ連合会編集の『戦後70年を振り返って』次世代への伝言』を発行。



被爆：戦争体験をかたり継ぐ

諫早文化会館中ホール

平成27年8月8日

### 2 第3回長崎ウエスレヤン

#### 大学との連携講義

#### 大学生との世代交流活動

高齢者の生きがいづくり等社会参加活動の一環として、長崎ウエスレヤン大学現代社会学部1年生との世代交流を図り、高齢化社会や老人クラブが抱える問題等、福祉コミュニティ、高齢者との共生、平和等について共に考え、語り合いました。

・被爆・戦争体験講話（会員）

・講義（会員）「高齢化社会における老人クラブの役割」

・班別で老人クラブと学生との意見交換

・各班の発表。

老人クラブ会員が23名と学生約70人が講義に参加し、熱心な意見交換をしました。学生にも好評であり、大学の先生方からも今後とも継続したいという強い意向がありました。

### 3 地元のアイバンク協会及び

#### ライオンズクラブとの連携

#### 地域貢献活動

角膜移植に関する啓発活動や角膜提供登録に対するサポートをして、アイバンク運動を推進しています。



# 市町老連別老人クラブ・会員数の状況

H28.6.1 現在

市町名	単位クラブ数		クラブ数増減			会員数			1クラブあたり 会員数	H27.10.1現在 60歳以上人口	加入率 %
	27年	28年	増加	減少	差引	27年	28年	増減			
長崎市	322	314	4	△12	△8	17,432	17,070	△362	54	158,632	10.8
佐世保市	258	250	1	△9	△8	14,439	13,995	△444	56	93,036	15.0
島原市	73	73				3,290	3,222	△68	44	18,454	17.5
諫早市	125	122		△3	△3	8,541	8,167	△374	67	48,161	17.0
大村市	67	66	1	△2	△1	3,698	3,563	△135	54	27,632	12.9
平戸市	62	62				3,149	3,153	4	51	14,707	21.4
松浦市	36	35		△1	△1	1,656	1,577	△79	45	9,885	16.0
対馬市	102	102	2	△2	0	3,746	3,651	△95	36	13,426	27.2
壱岐市	95	93	1	△3	△2	6,213	6,112	△101	66	11,726	52.1
五島市	98	96		△2	△2	4,565	4,436	△129	46	17,202	25.8
西海市	84	79	1	△6	△5	4,512	4,346	△166	55	12,649	34.4
雲仙市	104	103	2	△3	△1	4,558	4,486	△72	44	17,698	25.3
南島原市	171	169	2	△4	△2	7,614	7,344	△270	43	20,936	35.1
長与町	32	32				1,741	1,685	△56	53	12,755	13.2
時津町	18	18				1,262	1,250	△12	69	8,855	14.1
東彼杵町	21	21				1,874	1,851	△23	88	3,567	51.9
川棚町	27	27				1,664	1,566	△98	58	5,268	29.7
波佐見町	22	22				2,646	2,615	△31	119	5,547	47.1
小値賀町	20	20				1,119	1,132	13	57	1,469	77.1
佐々町	8	8				409	425	16	53	4,531	9.4
新上五島町	55	56	2	△1	1	2,771	2,710	△61	48	9,215	29.4
県計	1,800	1,768	16	△48	△32	96,899	94,356	△2,543	53	515,351	18.3

$$\text{加入率} = \frac{\text{H28. 6. 1 会 員 数}}{\text{H27. 10. 1 60歳以上人口}} \times 100$$



# 老人クラブ 3つの保険 〈掛金・保険金内容〉

## 傷害保険

平成28年7月1日改定

### ① 総合型

〈クラブ活動中・クラブ活動中以外を問わず日常生活全般(24時間)のケガを補償します。〉

☛ クラブ活動中のケガの場合は、**白地** + **薄いグレー** の合計 **黒色** の保険金額が支払われます。

☛ クラブ活動中以外のケガの場合は、**薄いグレー** のみの保険金額が支払われます。

年間掛金	10,000円	5,000円	3,500円			
ケガをした時の状況	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合	総合型 活動中以外のケガの場合
死亡保険金	170万円 <b>387万円</b>	217万円 <b>194万円</b>	85万円 <b>109万円</b>	109万円 <b>45万円</b>	45万円 <b>91万円</b>	91万円 <b>136万円</b>
後遺障害保険金 (注1)	170万円 <b>170万円</b>	— <b>85万円</b>	85万円 <b>85万円</b>	— <b>45万円</b>	45万円 <b>45万円</b>	— <b>45万円</b>
入院保険金日額 (注2) (1事故につき30日限度)	4,000円 <b>6,280円</b>	2,280円 <b>3,140円</b>	2,000円 <b>3,140円</b>	1,140円 <b>1,950円</b>	1,000円 <b>1,950円</b>	950円 <b>1,950円</b>
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	2,600円 <b>4,300円</b>	1,700円 <b>2,150円</b>	1,300円 <b>2,150円</b>	850円 <b>1,250円</b>	650円 <b>1,250円</b>	600円 <b>1,250円</b>

※「総合型」の職種別A級は無職・事務職(傷害リスクの低い職業)等です。B級(傷害リスクの高い職業)については、下記をご参照ください。

**注意** ●職種別B級に該当するおこな職種  
建設作業員、自動車運転者、探鉱・採石作業員などの傷害リスクの高い職業。  
上記に該当する方は、保険金額が変更になります。  
詳しくは取扱代理店もしくは引受保険会社にお問い合わせください。

### ② 活動型

〈クラブ活動中とその往復途上(注3)のケガを補償します。〉

☛ クラブ活動中のケガの場合は、下記の保険金額が支払われます。  
クラブ活動中以外のケガの場合は補償されません。

年間掛金	2,000円	1,000円	500円
ケガをした時の状況	活動型 活動中のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合	活動型 活動中のケガの場合
死亡保険金	170万円	85万円	45万円
後遺障害保険金 (注1)	170万円	85万円	45万円
入院保険金日額 (注2) (1事故につき30日限度)	4,000円	2,000円	1,000円
通院保険金日額 (1事故につき30日限度)	2,600円	1,300円	650円

**注意** クラブ活動とは、各クラブで予め企画、実行したものを指します。

※注1 後遺障害保険金は、クラブ活動中のケガに起因する場合のみが対象となります。(後遺障害の程度に応じて、クラブ活動中の死亡・後遺障害保険金額の4%~100%が支払われます。)  
※注2 手術保険金のお支払額は、入院中以外(外来)は、入院保険金日額の5倍または入院中は、10倍となります。  
※注3 往復途上とは、自宅(マンション、アパートなどの集合住宅は専用部、戸建では敷地を含む)を出てから、活動場所までの通常経路を指します。

## クラブの全会員加入が条件です。 老人クラブ活動専用 賠償責任保険

### ③ クラブ全員型

**補償範囲**：老人クラブ活動中の対人・対物(損壊)の損害補償(自動車等の所有・使用・管理に起因する事故は、対象外)管理下財物(注)の盗難・紛失等を補償します。但し、往復途上の事故およびご自身のケガは対象となりません。  
注)日本国内において被保険者(単位老人クラブ・会員)が占有または使用等している第三者の財物

**掛金**：クラブの全会員数×100円(但し、最低引受保険料3,000円)

**支払限度額**：1億円 ※施設賠償責任保険：対人・対物(1名・1事故) ※詳細については、賠償責任保険の「概要・ご加入の際の注意事項」をご参照ください。  
※生産物賠償責任保険：対人・対物(1名・1事故・保険期間中) (お支払される保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が査定いたします。)  
※初期対応費用、訴訟対応費用特約：支払限度額500万円(1事故)も付帯されています。

**保険期間**：毎年10月1日(午後4時)~翌年10月1日(午後4時)までの1年間

**申込方法**：毎年9月15日までに賠償責任専用の掛金払込用紙(払込取扱票)で掛金を払込みください。  
加入時に会員名簿の提出は必要ありません。

**中途加入**：「新規加入のクラブ」および「会員の追加加入」が可能です。  
・新規加入クラブ：毎月15日までに掛金の振込で翌月1日からの加入となります。但し、保険期間は直近の10月1日までとなります。  
・会員追加加入：届出は不要です。掛金は加入年に限り必要ありません。

## 公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 ミスビル1階102号

加入申込書等、資料請求先 ◆最寄りの市町村老人クラブ連合会に常備しています。 ◆不足の場合は市町村老連を通じて下記までご請求ください。

**専用FAX 03-3597-8767** お問い合わせ先 **03-3597-8770** (受付時間 9:30から17:00まで(土、日、祝祭日、年末年始休))

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> (老人クラブ傷害保険) 検索 [メールアドレス hoken@senior-ltd.com](mailto:hoken@senior-ltd.com)

〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769  
〈引受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社(担当課) 医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144

この広告は、「老人クラブ傷害保険(老人クラブ団体傷害保険特約付帯普通傷害保険)」、「普通傷害保険」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険(施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険)」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「老人クラブ3つの保険ご案内パンフレット」「概要・ご加入の際の注意事項」等をよくお読みください。詳細は、保険会社よりご契約者である団体の代表者にお渡ししております保険約款によります。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険保または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

16-T14041 平成28年4月作成 ③

# 長崎県老人クラブ連合会指定の宿泊施設

(期間) 平成28年6月～平成29年5月



長崎県老人クラブ連合会指定の宿泊施設です。  
単位クラブ等の旅行・研修・会議等に是非ご利用下さい。



※詳細につきましては、直接施設へお問い合わせ下さい。

平成28年6月1日現在

県名	指定宿泊施設名	住所	電話
長崎県	1 名湯の宿 雲仙いわき旅館	〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙318	0957-73-3338
	2 雲仙温泉 有明ホテル	〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙380	0957-73-3206
	3 休暇村 雲仙	〒854-0501 雲仙市小浜町諏訪の池	0957-74-9131
	4 国民宿舎 青雲荘	〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙500-1	0957-73-3273
	5 雲仙 富貴屋	〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙320	0957-73-3211
	6 伊勢屋旅館	〒854-0514 雲仙市小浜町北本町905	0957-74-2121
	7 島原温泉 ホテル南風楼	〒855-0802 島原市弁天町2丁目7331-1	0957-62-5111
	8 東洋九十九ベイホテル	〒855-0864 島原市秩父が浦町丁3552-53	0957-62-3111
	9 シーサイド島原	〒855-0862 島原市新湊1丁目38番1	0957-64-2000
	10 雲仙 みかどホテル 本館	〒859-1501 南島原市深江町甲5292-2	0957-72-5420
	11 しらはまビーチホテル	〒859-2502 南島原市口之津町甲字白浜2829-1	0957-86-3030
	12 Alega 軍艦島	〒851-0505 長崎市野母町692-1	095-893-1133
	13 いこいの村 長崎	〒859-0125 諫早市高来町善住寺1080	0957-32-2902
	14 平戸たびら温泉 サムソンホテル	〒859-4826 平戸市田平町野田免210-6	0950-57-1110
福岡県	15 リバーサイド つるき荘	〒839-1405 うきは市浮羽町古川1096-1	0943-77-3181
	16 筑後川温泉 桑之屋	〒839-1405 うきは市浮羽町古川1099-10	0943-77-2148
	17 清乃屋	〒839-1405 うきは市浮羽町古川1099-3	0943-77-2188
佐賀県	18 旅館 初音荘	〒843-0304 嬉野市嬉野町岩屋川内甲340-1	0954-43-3238
	19 和多屋別荘	〒843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿乙738	0954-42-0210
	20 ホテル光陽閣	〒843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿乙730-5	0954-43-0170
	<span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">新</span> 21 松園	〒843-0301 嬉野市嬉野町大字下宿乙855-2	0954-43-0153
熊本県	22 荒木観光ホテル	〒861-0112 熊本市植木町田底6	096-274-7201
	23 菊鹿温泉旅館 花富亭	〒861-0423 山鹿市菊鹿町池永177	0968-48-3141
大分県	24 あまがせ温泉 天龍荘	〒879-4203 日田市天瀬町湯山1137	0973-57-2370

残したい、伝えたい。長崎の技、こころ。

# 地域文化



2016年10月15日(土) ▶ 17日(月)

午前10時～午後5時

※17日(月)は午後4時まで

会場

長崎県立総合体育館



第29回全国健康福祉祭ながさき大会

ねんりんピック長崎2016

入場無料

長崎でひらけ長寿の夢・みらい

主催：厚生労働省・長崎県・一般財団法人 長寿社会開発センター・ねんりんピック長崎2016実行委員会

共催：スポーツ庁

主管：公益財団法人 全国老人クラブ連合会・公益財団法人 長崎県老人クラブ連合会

長崎県老連では、ホームページを開設しています。ご覧になりたい方は下記のアドレスにアクセスしてください。

<http://nagasaki-kenrouren.web.fc2.com/>

## 編集雑感

昨年10月、山口県老連から「伝承館旗」を引き継いでから10カ月。ねんりんピック長崎2016の開幕まであと約2カ月となりました。全老連と長崎県老連が主管・運営する地域文化伝承館の展示内容や出演演目も決まり、参加される皆さんは最後の仕上げや練習に取り組んでおられるようです。

前号の創立50周年記念特集に続き、今回も伝承館特集でいつもより4ページ多く、1か月遅れた発行となりました。練習風景などの写真を掲載しましたので、参加される皆さんの熱い思いが伝われば幸いです。

開館中は、県内市町老連の会員スタッフが心を込めて来館者をお迎えいたしますので、ご来場をお待ちしております。

来年開催される秋田県老連に「伝承館旗」を引き継ぐまで、熱中症対策を万全に会員一丸となって頑張ります。(華)

### 光と風の輪 第44号

平成28年8月1日発行

発行 (公財)長崎県老人クラブ連合会

長崎市茂里町3-24

☎095-846-5000

発行人 島中英安

編集人 本田哲朗

印刷 平和堂オフセット印刷(有)